

はしか地蔵の縁日

4月13日(日)、御前原城址公園ではしか地蔵祭りが行われました。満開の桜が咲く中、さまざまなイベントが行われ多くの来場者を楽しませていました。また、この日のみ開帳するはしか地蔵にはご利益を求めて市内外から多くの方が訪れていました。

はしか地蔵とは…1549年(天文18年)ごろに建立した地蔵であり“粉を病気の子どもに飲ませるとはしかが軽く済む”との迷信から顔を削り取られている。当時はここは山の中であり、人目を忍んで糞をもすがる思いで削りにきたとのこと。



木幡神社春の例大祭

4月13日(日)、木幡神社で春の例大祭が行われました。祭りでは、多くの方が見守られ、市の無形民俗文化財に指定されている太々神楽が披露されました。その後は、縁起物のお餅がまかれ、皆さんとても楽しんでいました。



高校最優秀賞受賞

4月21日(月)、県肉牛後継者・高校枝肉研究会で、最優秀賞に輝いた矢板高等学校の生徒が市長を表敬訪問しました。

受賞した枝肉は、同校農業系科で約3年にわたり飼育されたもので、A5ランクに格付けされました。生徒たちは、「これからも矢板の牛の素晴らしさを伝えていきたい」と力強く話してくれました。



企業誘致戦略会議設置

4月21日(月)、市内において「矢板市企業誘致戦略会議」の設立総会が行われました。この会議では、市の持続的発展と地域経済の活性化を図るため、土地利用並びに企業情報の収集およびそれらの情報を共有し、矢板南産業団地を含め、市内への企業誘致および産業基盤の整備を推進するため設置したものです。会議は市内商工業者40社と市の関係者で構成されています。

総会では「今後は官民で力を合わせて積極的に企業誘致に取り組んでいく」ことなどが確認されました。



市消防団辞令交付と礼式・操法訓練

4月5日(土)、市消防団の辞令交付式と礼式・操法訓練が行われました。今年は新たに22人が入団し、辞令を受けた後、早速矢板消防署の職員から指導を受けながら礼式訓練を行い、敬礼や団体行動の要領を学びました。その後は、操法訓練を通じて機材の使用方法についても学びました。皆さんのこれからの活躍が期待されます。

